

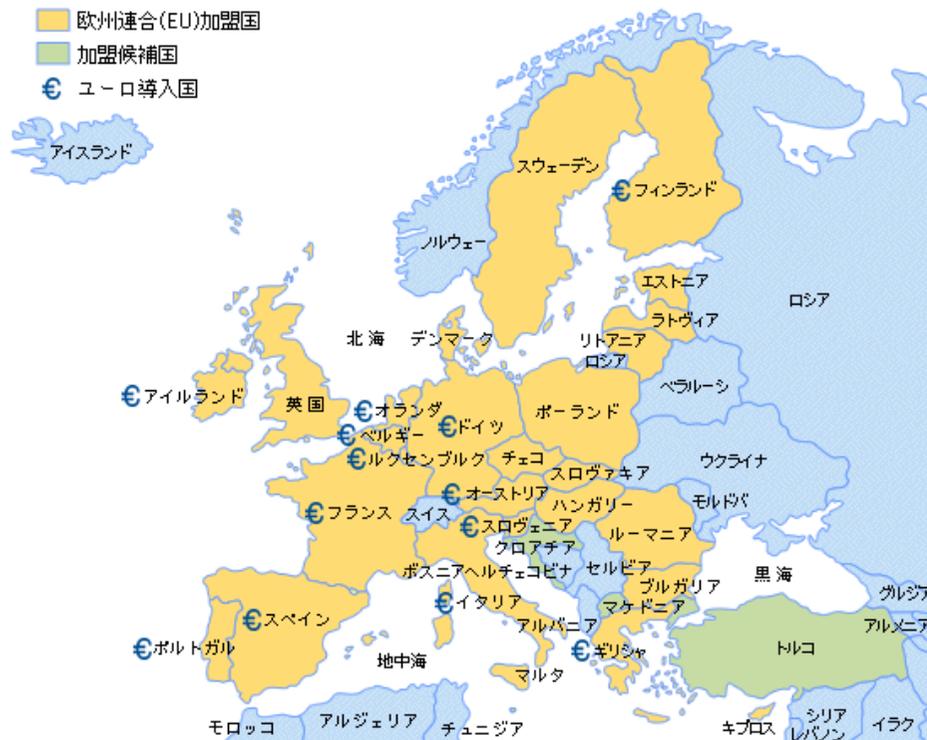
政治経済研究所主催公開講座
2017年10月7日(土)

EUはどこへ向かうのか

移民・難民問題、テロ、ポピュリズムの背景を考える

拓殖大学政経学部 准教授
細井優子

1. ヨーロッパ連合 (EU) の現在



- * 28か国 (* 英国離脱交渉中)
- * EU条約 (EUの憲法)
- * EU法 (EUの法律)
- * 欧州委員会 (EUの「霞が関」)
- * 欧州議会 (EUの「国会」)
- * 欧州理事会 (EUの「内閣」)
- * 欧州司法裁判所
- * 共通通貨 (ユーロ)
- * 人の自由移動

2. なぜ欧州統合は始まったのか

第一次世界大戦後

- * カレルギー：**地域主義**

⇒ナショナリズムの拡大としての汎ヨーロッパ主義

- * ブリアン：**不戦共同体**

⇒各国ナショナリズムの克服を目的とした汎ヨーロッパ主義

- * ヒトラー：**人種主義に基づくナショナリズム**

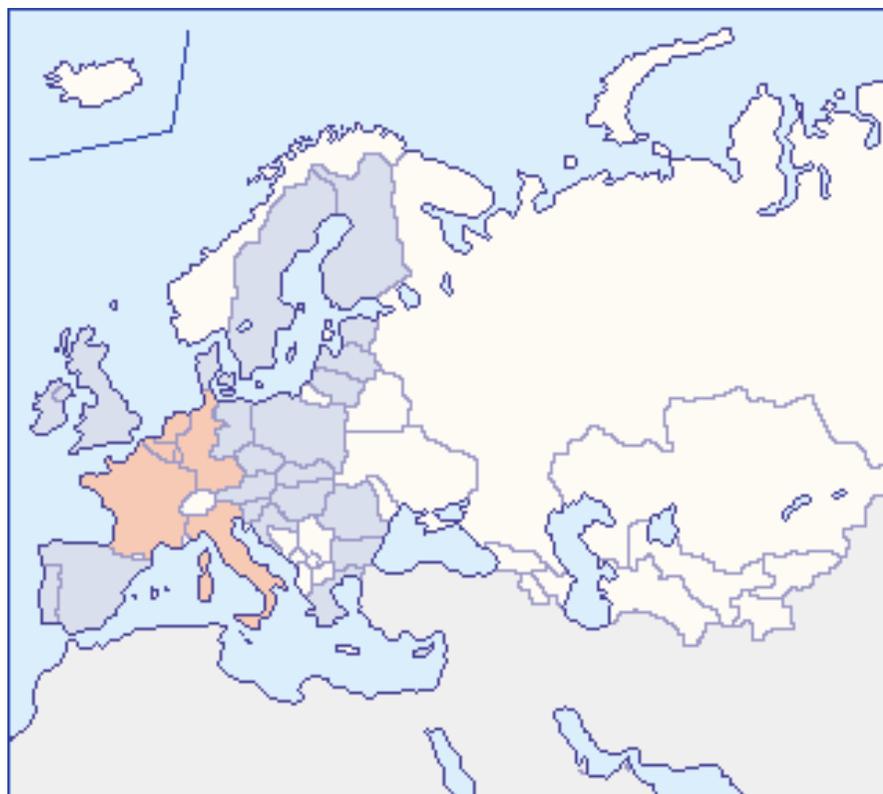
⇒第二次世界大戦により欧州統合運動は頓挫

シューマン・プラン

- * 1950年に独仏国境の石炭と鉄鋼を国際機関の管理下に置くことを提案
 - * 西独、ベネルクス、イタリア
 - * 1951年4月 欧州石炭鉄鋼共同体条約締結
欧州石炭鉄鋼共同体 (ECSC) が設立
- ⇒EUの前身、ヨーロッパ統合のはじまり

3. 統合の深化拡大と諸問題

原加盟国



- * フランス
- * 西ドイツ
- * イタリア
- * ベルギー
- * オランダ
- * ルクセンブルク

第1～4次拡大の背景：EFTA

【原加盟国(1960)】

イギリス

デンマーク

【現加盟国】ポルトガル

アイスランド

リヒテンシュタイン

スイス

ノルウェー(国民投票否決)

オーストリア

スウェーデン

フィンランド

【原加盟国(1952)】

仏、西独、ベネルクス、伊

東ドイツ(1990.10)

アイルランド (1973)

イギリス

デンマーク

ギリシャ (1981)

ポルトガル (1986)

スペイン

オーストリア (1995)

スウェーデン

フィンランド

第1次

第2次

第3次

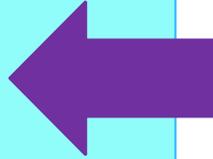
第4次

欧州自由貿易連合(EFTA)

EU

第5～6次拡大の背景：旧社会主義圏

原加盟国
第1次拡大
第2次拡大
第3次拡大
第4次拡大



チェコ (2004)

第5次

スロバキア

ポーランド

ハンガリー

マルタ* 島嶼国家

キプロス* 島嶼国家

ラトビア

リトアニア

エストニア

スロベニア

ブルガリア (2007)

ルーマニア

クロアチア* 旧ユーゴ (2013)

第6次

EU

旧ソ連圏など

欧州統合の深化拡大に伴う問題

①内部不均衡の問題

- * 加盟国間の経済格差(とくに新規加盟国)
- * 新規加盟国から旧加盟国へ労働力の移動

②ナショナリズムの高まり

- * 移民受け入れ国での社会的摩擦
- * ナショナリズムを刺激→ポピュリズム政党の躍進

③社会統合とアイデンティティの問題

- * ヨーロッパのリベラリズム的価値観とイスラームの対立

4. イギリスのEU離脱 (Brexit) を事例に

- * 2016年6月23日実施の国民投票
- * 投票率72. 2%
- * 離脱支持:51. 9%、残留支持:48. 1%
- * Bregret?

①経済格差

- * EU内経済格差

⇒ 拡大傾向、豊かな加盟国への移動

- * イギリス国内の経済格差

⇒ 拡大傾向・固定化

②ポピュリズム

* 定義

「人民」の立場から既成政治エリートを批判しながら政治変革を目指す運動

* 特徴

- ①主張の中心に「人民」を置く
- ②「人民」重視の裏返しとしてのエリート批判
- ③「カリスマ的リーダー」の存在

ポピュリズム政党の台頭

- * ファラージ(前)党首率いる英国独立党(UKIP)
- * EU離脱派の主張を牽引
- * 反EU、移民排斥、既成政治への批判を繰り広げる
- * 極右・ポピュリズム政党

EU離脱派の主張

「EU に週3.5億ポンド(5億円以上)を支払っている。
そのお金を国民医療サービスに使おう」

* リベート、補助金、実質的には週1.36億ポンド

* BBCのテレビ番組でのファラージ党首

<https://www.youtube.com/watch?v=Vn7PtdEYYVo>

ポピュリズムを支える有力な基盤

＜政治経済エリート＞

グローバル化やヨーロッパ統合を一方向的に進め、移民に「寛容」

＜非支配階層としての「下」の人びと＞

緊縮財政や産業構造の空洞化などの痛みを一方向的に負わされる

社会からの疎外感

エリートへの反感

＜ポピュリズム政党＞

既成政治を批判

既成政治から見捨てられた人々を守る「真の民主主義」の担い手

③移民・難民問題

- * 欧州単一市場・人の自由移動
- * EU加盟国国籍を持つ労働者の自由移動を保障
- * EU司法裁判所、移住先での「完全な平等待遇」を要求
- * **ポーランドからの移民労働者への不満(福祉目的?)**
- * **シリア難民の受け入れへの不安(テロ・治安悪化?)**

国民医療サービスの質の低下 移民のせい？

- * 移民の8割は生産年齢世代で医療をあまり必要としない
- * 国民医療サービスで働くスタッフ(11%)、医師(26%)移民
- * ユーロ危機以降の緊縮財政、高齢者増加傾向
- * 必ずしも移民の増加が原因とはいえない

⇒「福祉ショーヴィニズム」

難民はテロリストなのか？

- * 社会統合とアイデンティティ
- * 多文化主義政策 ⇒「並行生活」
- * 2005年7月ロンドン同時爆破テロ
- * 「イギリス育ちの」ムスリム ⇒アイデンティティの喪失
- * ごく一部の若者が有意味な帰属先を求めてイスラム過激組織へ

⇒テロリストは必ずしも外からやってくる時代ではなく、ヨーロッパ内部において養われ、自身の社会を破壊する

5. EUはどこへ向かうのか

- * ナショナリズムとシティズンシップの関係
- * EUの「シティズンシップ」はどうあるべきか
- * 形式的なシティズンシップ・実質的なシティズンシップ
- * 社会的排除・包摂
- * リベラリズム的価値観、「英国人性 (Britishness)」